



2021年度（令和3年度）がスタート！！

入園・進級おめでとうございます

4月6日始業式そして8日に入園式があり、新年度がスタートしました。本年度は年少のたんぽぽ組が男児3名女児8名の計11名、年長のさくら組は男児12名女児8名の計20名、合わせて31名でのスタートとなりました。昨年度より9名少なくなり、寂しくなりましたが、職員7名で一人一人の子どもよさを伸ばし、子ども達の健やかな成長を育てていくよう精一杯力を尽くしてまいります。本年度もどうぞよろしくお願いたします。

【緑丘幼稚園教育目標と目指す子ども像】

心豊かにともに伸びる“たくましい子ども”の育成

- やさしい子（友だちの気持ちを受け止められる子）
- 考える子（自分の思いを伝え、友だちと一緒に考えられる子）
- 粘り強い子（自己肯定感をもち、目標を、もって取り組める子）

【職員紹介】

園長	：明石 早希子	副園長	：栗田 知主子
年少組担任	：森保 郁子	年長組担任	：割鞆 三保子
園体制	：小野田 純子	介助員	：加地 美千子
担任外	：大村 里衣（現在他園で勤務。4/26から本園に戻ってきます）		



自分色の色水づくりに夢中の子ら



ダンゴムシの動きをじっと見つめる子ら



一緒になって砂場で遊びを楽しむ子ら

新年度がスタートして約3週間が経ちました。

年少さんは、入園当初なかなか家族と離れない子でしたが、日に日に幼稚園の生活に慣れ、ままごとをしたり、うさぎにパンジーやクローバーを見つけてはえさをやったり、年長さんのジュースやさんに魅せられながら色水づくりに興じたり・・・笑顔がたくさん見られるようになりました。また、年長さんは、友達と一緒に色とりどりの花を見つけては、自分のお気に入りのジュースをすりばちやめん棒で作ったり、友達と楽しそうに会話をしながらおにごっこやのぼり棒を楽しんだり・・・子ども達の賑やかな声で園庭は包まれています。子ども達は、遊びを通してこれから生きていく上で不可欠な社会性や集中力、探求心を培っています。

豊かな体験は子どもを成長させる鍵！

幼稚園教育には、学校のように教科書はありません。教師が、子どもの実態を見ながら発達段階（4歳児・5歳児）に応じて、ねらいをもとにカリキュラムを作成しています。だから、同じ4歳児の4月でも昨年度や一昨年度の4月とは、保育内容に違いがあります。その子どもの実態の見取りやねらいに基づく保育実践が、教師に求められる力です。（ここが幼稚園教員のすごいところだと、小学校から来た私にとっては、学ぶところです！）

ところが、昨年度新型コロナウイルスが感染拡大防止のため、4月5月と2か月突然臨時休園になりました。一年間の中でも一番過ごしやすい春、草木が芽を出し、色とりどりの花が咲き誇り、ダンゴムシやテントウムシたちがにぎやかに動き始める好季節。その時期に臨時休園し、子ども達と生き物たちや土・水とのふれあい等豊かな体験を奪ったコロナウイルス。コロナは、子ども達の育ちや学びをストップさせました。人とのふれあいも十分でなくなってしまった昨今、その影響は、じわりじわりと子ども達の姿に表れています。

4・5月に砂場で思う存分泥んこになって遊ぶ、不思議さや探求する気持ちをもってふれあうなど心揺さぶられる経験やその中で友達との対話が少なかったためか、子ども達の中には、手足や洋服が汚れることをとても気にしたり、夢中になって〇〇見つけができなかったり、自分達で遊びをつくりあげて楽しむ経験が乏しかったり・・・そんな姿が見られます。



幼稚園では、学校や家庭では思いっきり経験できない遊び（例えば、砂場で時間を忘れてどろんこになって遊んだり、虫見つけや草花とふれあったり、自分の得意なことや苦手なことに何度も挑戦したり、友達と知恵を出し合って遊びをつくれたり・・・）を楽しんで、たくさんの不思議の芽や発見をしてほしいと思います。ご家庭でも豊かな感動体験が思いっきりできるようご協力をよろしくお願いいたします。

※「緑丘幼稚園だより」は、園長明石が発行します。長年小学校教育に携わってきた経験から、幼稚園と小学校をつなぐ架け橋になれば願っています。また子ども達の様子から、子育ての楽しさを感じていただき、少しでも子育てのヒントになれば幸いです。忌憚のないご意見ご質問をお聞かせください。